

令和4年度 第1回

宍粟市教育委員会

# 会 議 録

(要点筆記)

日時 令和4年4月12日 午後3時30分から

場所 宍粟市役所 3階 庁議室

## 第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### ● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和4年4月12日（火） 午後3時35分～午後4時35分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 3階 庁議室

### ● 会議に出席した者の職氏名

#### 教育委員

中田直人	教育長	片山繁樹	委員
金本一二	委員	飯田さおり	委員
中川まゆみ	委員		

#### 事務局

大谷奈雅子	教育部長	小河秀義	教育部次長
進藤美穂	次長兼教育総務課長	岩薨貴裕	こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	谷尻博誉	学校教育課長
水口恵子	社会教育文化財課長	池本雅彦	次長兼山崎学校給食センター所長
中尾善弘	次長兼まちづくり推進課長	梶原昭一	人権推進課長
西岡公敬	一宮市民局副局長兼まちづくり推進課長	岩本浩二	教育総務課副課長

### 1 開会

中田教育長が開会した。

### 2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

### 3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、次のとおり決定した。

金本委員

### 4 前回会議録の承認

令和3年度第12回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

## 5 教育長報告

次の4点について、中田教育長が報告した。

### (1) 蔦沢小学校の開校式、市内小中学校の入学式について

4月7日に蔦沢小学校で開校式、市内7中学校・11小学校の入学式が行われた。

昨年度に比べ中学校全体では42人の減で296人、小学校全体では4人の減で254人の入学者数となった。また、4月12日は、公立幼稚園・認定こども園の入園式が行われた。

### (2) 令和4年度 教育員会事務局・学校園所の組織について

令和4年度の教育委員会事務局の組織については、正規職員と会計年度任用職員を含め、総勢342人の体制となっている。

### (3) 令和4年度 主な取組について

(学校教育関係)

- ・一宮北学園に続き、千種小中学校において小中一貫教育を推進する。
- ・GIGAスクール構想のもと、これまでの教育活動とタブレットを活用したICTとのベストミックスを図る取組を推進する。
- ・教職員の資質向上、学校現場の業務改善、子どもと向き合う時間の確保に注力する。

(教育環境関係)

- ・蔦沢小学校の大規模改修工事について、夏休みを中心に実施する。

(社会教育、文化財関係)

- ・令和4年3月に策定した「第2期栄栗市社会教育振興計画（前期計画）」を踏まえ、市民による自主的な社会教育活動の奨励と、誰もが学べる学習環境づくりに向けた取組を推進する。
- ・指定文化財及び未指定文化財について、国や県と連携しながら、適切な保護及び利用に努める。

(学校給食関係)

- ・公会計化による学校給食会計の透明性の向上に努める。
- ・給食材料における地産地消の推進、全国に誇れる学校給食の更なる充実に努める。

### (4) 幼保一元化推進状況について

山崎地区のこども園については、来年5月の開園をめざし、造成工事を進めている。

城下地区のこども園については、1月の教育委員会で候補地の選定について承認をいただき、3月議会において予算案が議決されたことから、令和6年4月の開園をめざし、城東保育所周辺の整備を進めていく。なお、これまでの経緯や今後の予定を整理したチラシを城下地区の各家庭に配布する。

また、神野・河東地区については、幼保一元化推進説明会を4月15日に開催する。

## 6 協議報告事項

### (1) 宍粟市教育委員会公印規則等の一部改正について

- ① 宍粟市教育委員会公印規則の一部改正
- ② 宍粟市立学校の通学区域に関する規則の一部改正
- ③ 宍粟市立幼稚園の通園区域に関する規則の一部改正
- ④ 宍粟市通学バス管理運行規則の一部改正

資料1【資料P 1～6】により、進藤次長兼教育総務課長が説明した。

### (2) 宍粟市教育委員会教育機関等の組織に関する規則の一部改正について

資料2【資料P 7～8】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

### (3) 宍粟市スポーツ施設管理規則の一部改正について

資料3【資料P 9～12】により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

### (4) 令和3年度 3月31日専決補正予算について

資料4【資料P 13】により、西林次長兼施設整備課長が説明した。

### (5) 令和4年度 宍粟市教育委員会事務局の組織について

資料5【資料P 14～57】により、進藤次長兼教育総務課長が説明した。

### (6) 令和4年度 学校園所長等一覧表について 資料 6 58P

資料6【資料P 58】により、進藤次長兼教育総務課長が説明した。

### (7) 令和4年度4月～山崎東中学校のALT配置について

資料7【資料P 59】により、進藤次長兼教育総務課長が説明した。

### (8) 令和4年度 学校園所の児童生徒数の状況について

資料8【資料P 60～63】により、進藤次長兼教育総務課長が説明した。

### (9) 宍粟市立認定こども園通園バス運行要綱の一部改正について

資料9【資料P 64～68】により、岩薮こども未来課長が説明した。

### (10) 認定こども園運営法人の募集について

資料10【資料P 69～74】により、岩薮こども未来課長が説明した。

### (11) 学校給食における異物混入状況及び対策について 資料 11 75P

資料11【資料P 75～76】により、池本次長兼山崎学校給食センター所長が説明した。

(12) 令和4年度 学校給食実施計画表と予定調理数について

資料12【P77～78】により、池本次長兼山崎学校給食センター所長が説明した。

(13) 令和4年度 第3子以降学校給食費免除申請状況について

資料13【資料P79】により、池本次長兼山崎学校給食センター所長が説明した。

(14) 第15回宍粟市さつきマラソン大会について

資料14【資料P80～81】により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

(15) 「西播磨人権のつどい」「人権の花運動」について

資料15【資料P82】により、梶原人権推進課長が説明した。

(16) その他

- ・別冊資料「令和4年度宍粟の教育」、「令和4年度（2022）指導の重点」、「兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり」について、谷尻学校教育課長が説明した。
- ・別冊資料「第2期宍粟市社会教育振興計画（前期計画）」について、水口社会教育文化財課長が説明した。
- ・別冊資料「宍粟市人権啓発冊子 2022『そよ風』」について、梶原人権推進課長が説明した。
- ・家原遺跡公園の指定管理、今後の事業展開等について、西岡一宮市民局副局長兼まちづくり推進課長が説明した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

（金本委員）

学校給食費が公会計化されることにより、給食費の支払について児童手当から引き去ることが可能になるかと思うが、保護者の方からその申請はどれぐらい出ているのか。

従前は給食費の未納問題について先生が苦勞されているという話もあったため、そういった引き去りが進んでいけばと思う。

（池本次長兼山崎学校給食センター所長）

集計中であるが、現段階で児童手当からの引き去りについて158件の申請がある。自治体によっては、ほぼすべての児童から児童手当からの引き去りを行っているケースもあると聞く。市としては、今後も近隣団体等の状況も確認しながら、特に未納が続くご家庭については、児童手当からの引き去りをお願いしていくことを検討している。

（中田教育長）

従前との比較で、母数に違いはあるが、給食への異物混入が大きく減少している。非常に努力いただいた結果だと思うが、この要因はどのように分析されているのか。

（池本次長兼山崎学校給食センター所長）

給食センターとして、異物が見つけやすいようLED電球に替えるなどの施設の改善

や、調理員の意識向上を図る研修の実施に取り組んでいる。当然、目標は0件であるが繰り返し調理員に注意喚起をしていくなかで、少しずつ結果として表れているのではないかと考えている。

(片山委員)

兵庫の教育について例年どおり報告をいただいているが、免許更新制の廃止の件について、これから具体的な話が出てくるかと思う。また、審議まとめの中で、教員一人一人のニーズに合った研修とあるが、この部分については、現場に即した研修・現場の中での研修を実施していくとまとめられている。現場の中で研修を実施するとした場合、学校園所長の役割が大変大きくなっていく。従前は、現場を離れて外で研修をしていたが、現場の子どもや先生の実態に合わせ、地に足の着いた研修を進めていくことが求められていると思うので、行政側の教育委員会には、学校園所長に対するサポート体制、バックアップ体制の構築をお願いしたい。

(谷尻学校教育課長)

今後は免許更新制に関する法律が廃止され、委員がおっしゃられた研修に関わる部分について協議・検討を進めていく必要がある。国や県の方針はまだ出ていないが、今後それらの方針も確認しながら、宍粟市の場合は教育研修所とも連携しながら、学校園所長に対するサポート体制・バックアップ体制の構築に努めていきたい。

(中田教育長)

補足として、教員免許更新制度が廃止された後、どのように研修に取り組んでいくか、委員のご指摘のとおりである。今後は、画一的・一斉的な研修から、現場の多様な問題解決につながるような対話的・協働的な研修の充実が重要となる。学校教育課と教育研修所で十分に連携を図りながら、効果的な研修が実施できるよう取り組んでいきたい。

## 7 次回会議の招集について

令和4年5月17日（火）午前9時30分から、宍粟市役所4階402・403会議室において、令和4年度第2回宍粟市教育委員会を開催することとした。

## 8 閉会

片山委員が閉会した。